

2025 年度 札幌学院大学大学院臨床心理学研究科 二期入学試験

専門科目

問題 1

問 1 投影法の説明として適切なものを1つ選びなさい。

- ①投影法は提示された質問文に対して Yes か No で答える自記式検査のことである。
- ②投影法とは曖昧な刺激を提示し、それに対する自由な反応を求める検査である。
- ③投影法とは被検者の回答の自由度が低い検査法のことである。
- ④投影法は実施や解釈に時間がかからないため簡便に実施可能な検査である。
- ⑤投影法は被検者が回答を意図的に変更することが容易な検査である。

問 2 意欲の低下や気分の落ち込みを主訴として来院した成人クライアントに対するテストバッテリーに含める心理検査として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- ①S-M 社会生活能力検査
- ②AQ
- ③新版K式発達検査
- ④SDS
- ⑤WPPSI-III

問 3 心理検査の実施場面におけるインフォームド・コンセントの説明として不適切なものを1つ選びなさい。

- ①心理検査に要する時間や検査の進め方などに関して十分な情報提供を行う。
- ②クライアントの年齢などを考慮し、クライアントに分かりやすい言葉遣いを用いる。
- ③今後の心理的支援に悪影響が予想される際にはインフォームド・コンセントは省略する。
- ④クライアントが未成年の場合は保護者に対しても実施する。
- ⑤心理検査の結果は今後の心理的支援に活用していくことを説明する。

問 4 心理的アセスメントについて不適切なものを1つ選びなさい。

- ①アセスメント面接においては、確認的機能が高い非構造化面接を用いる。
- ②クライアントの許可を得た上で、関係者からの情報収集を行うこともある。
- ③適切な情報を得るためにクライアントとの協働関係の形成は欠かせない。
- ④アセスメント面接は心理的支援に先立って行われる。
- ⑤心理アセスメントにおいてはクライアントを観察することも重要である。

問5 以下の仮想事例を読み、この後に公認心理師・臨床心理士が実施することが適切な心理検査の組み合わせをAからEの中から1つ選びなさい。

80歳の女性X。「娘から一緒に病院に行こうと言われたので・・・でも自分でも最近は物忘れが増えたかなとは思う」とのことにて、精神科病院に娘とともに来院する。医師の診察では、娘からも「玄関の鍵のかけ忘れが増えてきたし、ご飯を食べた後にもかかわらず、『ご飯はまだなの?』と言うこともある」との訴えがあり、医師より心理検査の依頼がなされた。

① FAB ② MoCA-J ③ Cognistat ④ KABC-II ⑤ HDS-R

	①	②	③	④	⑤
A	○	○	×	×	○
B	○	○	○	○	○
C	×	×	×	○	○
D	○	○	○	×	○
E	×	○	×	×	×

問6 以下の間に各200文字以内で答えなさい。

- (1) 知能のCHC理論について説明しなさい。
- (2) アルコール依存症について説明しなさい。
- (3) 障害者虐待の5類型について説明しなさい。

問題2

問1 次のa～eのうち、認知行動療法に関係のある人名に○、そうでないものに×をつけた場合、①～⑤の組み合わせのうち正しいものはどれか選びなさい。

- a. Aaron Temkin Beck b. Hans Jürgen Eysenck c. Joy Paul Guilford
d. Donald Meichenbaum e. Paul Ekman

- ① a. × b. ○ c. ○ d. ○ e. × ② a. ○ b. × c. ○ d. × e. ○
③ a. ○ b. ○ c. × d. × e. ○ ④ a. × b. ○ c. ○ d. × e. ○
⑤ a. ○ b. ○ c. × d. ○ e. ×

- ①a. × b. ○ c. ○ d. × e. × ②a. ○ b. × c. ○ d. ○ e. ×
③a. × b. ○ c. ○ d. × e. ○ ④a. × b. ○ c. × d. × e. ○
⑤a. ○ b. ○ c. ○ d. × e. ×

問6 <事例>

はるとさんは、20歳の大学生の男性である。彼は3か月前から休学していた大学の保健師によって病院に連れてこられた。はるとさんが所属している大学の授業に急にやってきて、「私はアメリカの国のCIAのエージェントで、某国のスパイを探している。」と叫び、教員が教室から出るように求めても「……スパイはスパイスが利いて、きくと菊の花が北の湖になって…」と意味不明の発言をし拒んだために連れてこられたのだった。

はるとさんは10代のころは学業成績もよく、将来は父親と同じく大学教員になるという目標を持っていたが、8か月前より大学へ行く足が遠のき、この6か月ほどは家族以外の誰とも会うことなく、自室のベッドで横になり天井を見つめながら過ごしていた。また最近では、はるとさんが自室で独りで誰かと話している声が聞こえたり、テレビのニュースで自分のことが話題となり、日本国民から将来を嘱望されている、「葛城 ミサトから求婚された」と家族に話したりしていた。

家族は心配してはるとさんを病院に連れて行こうとしたが、はるとさんは緊張した面持ちで硬直したり、時には食事を用意するとお茶の味がいつもと違い「毒が入っているに違いない」と興奮気味に飲食を拒絶するようになっていた。

これは統合失調症のケースである（仮想事例）。

DSM-5の診断基準のうちAでは、基準となる症状が5つあり、その内の2つ（またはそれ以上）、おのおの(A)カ月間ほとんどいつも存在する。また、これらのうち少なくとも1つは①か②か③である。

(A) に当てはまる期間は、何カ月かを示しなさい。

(B) 5つの症状①～⑤を示し、事例の中のはるとさんに当てはまる言動を示しなさい。

問7 以下は、心的外傷後ストレス障害の代表的な心理的介入法（心理療法）の説明である。この介入法の名称について答えなさい。

- ①情動処理理論に基づき、想像上の曝露と現実の曝露の2種類の曝露を含む1回90分、10～15回のセッションを行う。
- ②今も心に引っかかっている記憶を想起しつつ、主に水平方向の眼球運動のような両側性刺激（聴覚、触覚も選択肢）を行わせることで、否定的な記憶を処理する。
- ③身体感覚に集中することにより、交感神経と副交感神経といった自律神経系の調整不全を整え、自律神経にかかる過剰な制御エネルギーを緩和する。
- ④トラウマからの回復を妨げる思考パターンに気づき、修正していくことに重点を置く、考え方のくせを系統的に見直し、修正する。アメリカの3人の臨床心理学者、リーシック、マンソン、チャードによって開発された。

問題3

問1 問題文を読んで、Q1 から Q3 に解答しなさい。

ある教員が、自分が担当する授業に対する満足度を知りたいと思い、以下の二つの調査を行った。

[調査1] 3年生対象の「専門ゼミナール」を受講する16名(男女共に8名)について調査を行ったところ、次のような結果が得られた。この調査では、性差の影響を見たいと思ったので男女別に集計したところ、次の表のような結果が得られた。

	どちらかという満足	どちらかという不満
男	7	1
女	4	4

教員はこのデータに対して有意性検定を適用した。

[調査2] 次に同教員は、教養科目「よくわかる心理学」について調査を行おうとしている。この授業は受講生が500名と多いため、ここから140名をサンプリングする調査をしようと考えた。心理学部と経済学部の学生が受講しているが、学部によって満足度が異なるかどうかをこの調査では確かめたいと思った。なお心理学部の受講生は300名、経済学部の受講生は200名である。

調査1のように「どちらかという満足」「どちらかという不満」という二値ではなく、教員はもっと細かく満足度を測定したいと考え、最低の満足度を0点、最高の満足度を100点とする101件法で測定を行なうことにした。そしてその結果に対して2有意性検定を適用し、学部による満足度の差がないか検討しようとした。

Q1. 上記[調査1]について、教員は間違っことを少なくとも一つしている。その中で、最も明確に間違いであると言うべきことを指摘し、かつどうしてそれが間違いなのかを説明しなさい。

Q2. 上記[調査1]の下線部1について、どういうサンプリングが望ましいであろうか。500名から40名をサンプリングする方法を具体的に示しながら、どうしてそれが望ましいと言えるのかを説明しなさい。

Q3. 上記[調査2]の下線部2について、101件法によって得られたデータが間隔尺度とみなせるという前提で、適用可能な有意性検定を一つ挙げなさい。かつ仮想データでよいので、検定結果を研究論文に記載されるような文章で記しなさい。あなたが選んだ検定結果を報告するときに必要な事項(代表値、散布度、統計量ほか)が、極力漏れることのないように記すこと。

問2 以下のQ1からQ4に示す文章には、専門用語あるいは説明にかかわる間違いがある。それらを適切に修正し、全文を書き直しなさい。句読点については解答者の任意で使用して構わない。

Q1. 神経細胞において、最初に過剰な神経結合が形成されるも、発達過程において必要な結合だけが強められ、不要な結合は除去される現象をシナプスのノックダウンと言う。

Q2. ピアジェの発達理論によれば、保存課題の失敗は具体的操作期で生じるとされる。

Q3. 身長や体重、胸囲などにおいて、身体の量的側面の増大がある年齢から加速化を見せる現象を、発達加速現象と呼ぶ。

Q4. 成功は自分のせい、失敗は自分以外のせいと、出来事の原因が偏って説明される現象を、セルフハンディキャッピングという。

問3 以下のQ1からQ3に解答しなさい。

Q1. 遊びの内容が発達と共にどう変わっていくかを幼稚園児、小学生、中学生、高校生の比較によって行なうとする。これを横断的研究で行なう場合の長所と短所を一つずつ挙げなさい。

Q2. 実験法における「剰余変数」とはどのようなものを説明しなさい。

Q3. キティ・ジェノヴィーズ事件の一因になったとされる、「責任の分散」とはどのような現象かを説明しなさい。

解答・解答例・出題意図

問題 1

問 1 ②

問 2 ④

問 3 ③

問 4 ①

問 5 D

問 6 解答例

(1) CHC 理論とは Cattell、Horn、Carroll の 3 人の名前の頭文字を関した知能理論のことである。特徴は 3 層構造を想定している点であり、最上層部に第 3 層として一般知能、中層部に第 2 層として広範能力、最下層に第 1 層として限定能力を置いている。第 3 層の一般知能 g 因子は Spearman が提唱した内容である知的課題に影響する全因子とほぼ同義であり、第 2 層は 8 種の広範的能力から構成され、第 1 層は約 70 種の特定領域に関する能力で構成されている。

(2) アルコールの使用が他の何よりも優先されるような精神的、身体的な現象からなる症候群をアルコール依存症という。中心となるのはアルコール摂取への強い、強迫的な欲求である。飲酒について自己制御できないことの自覚がある。飲酒を中断すると離脱症状を生じ、これが飲酒によって軽減するので、離脱症状を避けるために飲酒する。アルコールに対する耐性の増加があるが、依存が進むと耐性がかえって低下するようになる。

(3) 障害者虐待には身体的虐待、放棄・放任（ネグレクト）、心理的虐待、性的虐待、経済的虐待の 5 類型がある。身体的虐待とは暴力など身体に痛みを与えることである。放棄・放任とは身の世話をせず生活環境を悪化させることである。心理的虐待とは言葉によって精神的苦痛を与えることである。性的虐待とは本人が同意していない性的行為やその強要のことである。経済的虐待とは、本人の同意なしに財産などを搾取することである。

問題 2

問 1 ⑤

問 2 ②

問 3 ⑤

問 4 ③

問 5 ①

問 6

(A) 1 カ月

(B)

	症状	はるとさんに当てはまる言動
①	妄想	「私はアメリカの国の CIA のエージェントで、某国のスパイを探している」、ニュースで自分のことが話題となり、日本国民から将来を嘱望されている、「葛城 ミサトから求婚された」お茶の味がいつもと違い「毒が入っているに違いない」という言動
②	幻覚	自室で独りで誰かと話している、「葛城 ミサトから求婚された」という言動
③	まとまりのない発語 (例：頻繁な脱線または滅裂)	「.....スパイはスパイスが利いて、きくと菊の花が北の湖になって」という言動
④	ひどくまとまりのない、または緊張病勢の行動	緊張した面持ちで硬直する
⑤	陰性症状 (情動表出の減少、意欲欠如)	8 か月前より大学へ行く足が遠のき、この 6 カ月ほどは家族以外の誰とも会うことなく、自室のベッドで横になり天井を見つめながら過ごしていたという言動

問 7

- ① 持続エクスポージャー療法／持続的曝露療法
- ② EMDR(eye movement desensitization and reprocessing)／眼球運動による脱感作と再処理法
- ③ ソマティック・エクスペリエンシング
- ④ 認知処理療法 (Cognitive Processing Therapy)

問題 3

問 1 出題意図：心理学研究におけるデータ採取法、有意性検定に関する基礎的知識が習得できているかを見る問題であった。

解答例：

Q1. 間違っている点：全数調査を行なっているのに、有意性検定をしている。

間違っている理由：有意性検定は全数調査できない場合に適用する推測統計のため、全数調査できているデータに対する適用は間違っている。

Q2. 受講生の学部比率に応じて、心理学部 3、経済学部 2の割合で 40 人を配分する。心理学部から 24 人、経済学部 16 人抽出することになる。ついで各学部の受講生からそれぞれの人数がランダムで選ばれるようにしてサンプリングを行なう。

Q3. 心理学部と経済学部の下平均値と標準偏差はそれぞれ 80 点(10)、60 点(10)であった(カッコ内は標準偏差)。t 検定を適用したところ、 $t(38)=2.00$ となり 5%水準で有意であった。

検定名称、代表値と散布度、統計量と自由度、有意水準(有意確率)が記載されているか、それぞれを採点した。

問 2 出題意図：基礎系心理学の基礎的知識を有しているかを見る問題であった。

解答例：

Q1. 「シナプスのノックダウン」を「シナプスの刈り込み」に修正。

Q2. 「具体的操作期」を「前操作期」に修正。

Q3. 「発達加速現象」を「成長加速減少」に修正。

Q4. 「セルフハンディキャッピング」を「セルフサービングバイアス」あるいは自己奉仕バイアス」に修正。

問 3 出題意図：基礎系心理学の基本的概念が理解できていることを見る問題であった。

解答例：

Q1.

長所：(縦断的研究に比べると)短期間で各発達段階のデータが集められる。

短所：生育の背景にある諸要因(経済状況や流行など)が遊びに影響する可能性があり、遊びの変化が発達要因のみに帰属しにくくなる。

Q2. 従属変数に影響を及ぼす可能性がある独立変数以外の変数のこと。

Q3. 他の人がなんとかしてくれるから自分は何もしなくてよいだろうと、各人が考えてしまう(そして誰も事を起こさない)現象。

小論文 問題

次の文章を読み、問 1、2 に答えなさい。

本文は、著作権の関係により掲載できません。

出典 三浦綾子（1973）塩狩峠，新潮社.

問 1 汽車の暴走中の乗客の心理面、身体面等を鑑みて、主人公の心の中にどのような気持ちが生じて、どのような判断をして、このような行動に至ったのか、その背景にある考えや信念等を踏まえて、あなたの考えを 300 字以上 500 字以内で述べなさい。

問 2 あなたは心理支援職として働いていて、偶然 1 人でこの汽車に乗っていたとしたら、主人公と同じ行動を取っただろうか。あるいは他の乗客の立場に立っただろうか。あなたならどう行動したのか、そこに至るまでにあなたが何を感じ、考え、判断したと考えられるのか、300 字以上 500 字以内で述べなさい。

評価方法：

ルーブリック評価を実施。評価の観点は、基本的な文章作成力の他、構成力、論理力、表現力、考察力等で構成。

英語 問題

次の英文を読み、問 1、2 に答えなさい。

本文は、著作権の関係により掲載できません。

引用 Counselling Psychology A Textbook for Study and Practice. DAVID MURPHY, ed. 27 An Introduction to Quantitative Research in Counselling Psychology. DUNCAN CRAMER, 2017 John Wiley & Sons Ltd, p409.

問 1 下線部(A) (B) (C)を和訳しなさい。

問 2 本文で述べられている、カウンセリングにおける quantitative research について、その特徴、メリット、デメリットを述べなさい。

出題意図：

問 1 基本的な単語・文法の知識を問う問題であった。

問 2 筆者の意図を理解できているかどうかを問う問題であった。